

目覚めよ農家女性! 農家が食べ物もエネルギーも 人もつくる社会へ。

〒869-1501
熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併1282
E-mail: inakano.heroine@gmail.com
http://inakano-heroine.jp/



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



再エネに関するオンライン講座の様子

都市農村交流人口	100人
オフライン講座参加者	200人
今年度計画の達成度	100%
活動の全体目標に対する達成度	80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

「エネルギー」という「難しそう」というイメージを持たれてしまうので、まずエネルギーについて身近に感じてもらい、「自分ごと」としてとらえてもらうことが大変だった。

■ 工夫した点

農家女性は農作業の合間にラジオを聞くので、iTunesで無料のpodcastを配信した。同時に理事メンバーを中心に実際の再エネ施設に足を運び勉強を重ねた。

課題

農業や農村が持つ環境保全などの価値について、都市や農村、消費者と生産者の相互理解がないこと。そのためにも農家が食べ物だけでなく、人もエネルギーも作る必要がある。

目標

会員の50%に「意識が変わることで農村の持つ価値を高めることができる」という意識づけがなされ、再エネや農村の価値について伝えることができる人を40名育成する。

活動内容と成果

3年間の活動を通して、農家女性に限定せず農に関わる他団体や個人と協働する中で、まず農村の価値について広く情報発信をすることの必要性を感じた。そのため、今年度はレストランパスを使った情報発信事業を行った。当団体の呼びかけで、全国の農に関わる女性が被災地であり、世界農業遺産にも選ばれた阿蘇に集まり、豊かな農村を世界に向けてアピールし、大きく新聞にも取り上げられた。再エネについては、まだまだこれからではあるが、農村の価値については会員の枠を超え、理解をしている人も伝えられる人も増やすことができた。



豊かな農村を世界へアピールするための映像

全助成期間の活動を振り返って

歴史のある団体が世代交代をした後、今の時代にあった活動とは何かを考えたとき、地球環境への配慮が一番上がった。女性農家が具体的に何をすればいいのか、何ができるのかが明確でなかったが、本助成事業を通して再生可能なエネルギーについて学ぶことができたり、自分たちの果たす役割を認識したうえで対外的に発信することができ、農業・農村が与える地球環境への影響について認識する機会が持てた。



風景を着るファッションショーで情報発信

今後の展望

3年間の活動の中で、これからの農村や農業を支えるためには、会員だけでなく、もっと広く若い世代に就職時などに「農家になる」、「農村で暮らす」という選択肢がある状態を目指す必要があると感じた。そのため若い世代を農村へ呼び込むための仕掛け(例えばグランピング)に取組み、農村の価値を伝えるための出前授業を進め、それらの活動のために団体として発電事業を軸とし、その収入で活動の幅を広げていきたい。